

# 微粒化 第15巻51号

2006年12月

## 目 次

### 研究論文

- 位相ドップラ法のディーゼル噴霧への適応性に関する研究  
.....奥村宜宗, 竹田哲馬, 千田二郎.....52

### 解 説

- 高速度現象における画像計測法 その2 -計測カメラ, 撮像素子  
.....安藤幸司.....60

### 解 説

- 噴霧燃焼の光学計測  
.....赤松史光.....76

### 随 想

- 第2回微粒化セミナー開催報告  
.....天谷賢児.....85

### 会 告

- |                    |     |             |     |
|--------------------|-----|-------------|-----|
| 第15回微粒化シンポジウム開催案内  | 告2  | 入会申込書       | 告16 |
| 第6回写真コンテスト開催のお知らせ  | 告4  | 維持会員入会申込書   | 告17 |
| 第15回微粒化シンポジウムプログラム | 告5  | 会員名簿の訂正と変更届 | 告18 |
| 第19回内燃機関シンポジウム     | 告9  | 投稿規定        | 告19 |
| 会則・細則              | 告10 | 執筆要綱        | 告21 |
| 入会案内               | 告12 | 原稿割付見本      | 告24 |
| 維持会員入会案内           | 告13 | 原稿表紙        | 告27 |

### 表紙写真の説明

題目：ディーゼル噴霧の噴射終了後の渦構造

同志社大学 中川仁希氏, 根来 司氏, 堀 司氏, 奥村宜宗氏, 千田二郎先生, 藤本元先生ご提供  
噴射終了後における非定常噴霧断面を撮影した。燃料に軽油を用い80 MPaまで加圧し, 大気圧場に噴射した。光源にNd:YAGレーザ, 撮影系には拡大投影機と大判フィルムにより構成される自作カメラを用いている。大判フィルムを用いることで, 液滴レベルの分解能を保ちながら広視野(ノズルから60mm)を確保することが可能である。本写真では, 周囲気体に誘引される渦構造により, 燃料液滴が分級される状態が捉えられている。